

担当講座	内科学講座 循環器内科分野		問合せ先	循環器内科分野	
分野責任者	森野 禎浩 教授		連絡先	内線6413	
担当教員	森野 禎浩 教授 房崎 哲也 特任准教授 伊藤 智範 教授（地域医療学分野） 石田 大 准教授 大和田 真玄 准教授 熊谷 亜希子 講師（臨床検査医学・感染症学講座） 佐々木 航 助教				
人材育成の 基本理念	心臓血管疾患の診療・予防・研究ができ、更に、関連内科領域の診療も広く行える人材を育成する。内科認定医及び循環器専門医資格の取得を目指す。				
主な研究内容	心臓血管疾患の診療・治療・予防について研究を行う。				
教育成果 （アウトカム）	教育成果			該当するディプロマポリシー	
	循環器疾患の診療を、教員とともに行う。その中で、疾患の診断、病態の把握、治療法の選択など、内科および循環器専門医として必要な知識、技術、考察力を修得する。			1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	
到達目標	到達目標		対象科目		
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる。		ベーシックセミナー、循環器病学演習2		
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。		研究方法論、循環器病学演習2		
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。		特別研究ⅠⅡⅢ、循環器病学演習2		
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる（英文が望ましい）。		特別研究ⅠⅡⅢ、循環器病学演習2		
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。		特別研究ⅠⅡⅢ、循環器病学演習1, 2, 3 循環器病セミナー1,2,3,4		
	(6) 次世代の人材育成に貢献できる。		特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー		
	(7)主訴、現病歴、既往歴などを聴取し的確に記載できる。		循環器病学演習3		
	(8)視診、聴診、触診などにより現症を診察できる。		循環器病演習1		
	(9)疑わしい疾病を推測し鑑別に必要な検査を計画できる。		瞬間奇病演習1		
	(10)諸検査（心電図、心エコーなど）を正しく把握し、迅速に治療方針を立案できる。		循環器病学演習3		
	(11)集中治療室での救急医療を経験し、循環器疾患の救急医療を修得する。		循環器病学セミナー1,2,3,4		
	(12)心臓カテーテル検査の適応や手技を理解し、典型的な検査結果を判読できる。		循環器病学セミナー1,2,3,4		
	(13)心臓病リハビリテーションの適応と効果を理解する。		循環器病学セミナー1, 3		
	(14)循環器疾患の危険因子と予防医学の重要性を理解する。		循環器病学セミナー1,2,3,4		
	(15)血管疾患の諸検査（CT、MRI など）を理解し、治療方針を立案する。		循環器病学セミナー1, 2, 4		
資格取得等	内科専門医、循環器専門医。				
履修に関する 情報	社会人大学院生や救急医療担当時など、授業に出席できない場合、日程を調整する。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。				

●在学中に履修できるカリキュラム

区分		配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	選 択 必 修	1～4年	演習	循環器病学演習1	通年	30	4	20単位	※20単位以上の取得可
			演習	循環器病学演習2	通年	30	4		
			演習	循環器病学演習3	通年	30	4		
			講義	循環器病学セミナー1	通年	30	4		
			講義	循環器病学セミナー2	通年	30	4		
			講義	循環器病学セミナー3	通年	30	4		
			講義	循環器病学セミナー4	通年	30	4		
特 別 研 究	必 修	2年		特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
		3年		特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
		4年		特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

循環器内科学

コード	MD14151010					MD14151020					MD14151030					MD14151040				
科目	循環器病学演習 1					循環器病学演習2					循環器病学演習3					循環器病学セミナー1				
科目責任者	森野植浩					伊藤智範					熊谷亜希子					石田大				
担当者	森野植浩					伊藤智範 (医学教育学講座地域医療学分野)					熊谷亜希子（臨床検査医学講座）					石田大				
会場	附属病院5F 循環器内科医局					附属病院5F 循環器内科医局					附属病院5F 循環器内科医局					附属病院5F 循環器内科医局				
区分等	区分	演習		単位	4	区分	演習		単位	4	区分	演習		単位	4	区分	講義		単位	4
	回数	通年30コマ		配当年次	1～4	回数	通年30コマ		配当年次	1～4	回数	通年30コマ		配当年次	1～4	回数	通年30コマ		配当年次	1～4
主な授業内容	症例に基づく循環器学演習					抄読会・論文の書き方基礎演習					心臓超音波学					虚血性心疾患について				
教育成果	臨床循環器学の総論的な部分を、選択した症例をもとに検討会形式でディスカッションし、広く学習し、習得する。					循環器領域の優れた論文などの抄読会に参加し、論文の読解し詳説する。基礎的な論文の書き方についても演習形式で習得する。					心臓超音波の基礎を学習し、使用法に関する演習を行い、超音波診断法を習得する					虚血性心疾患の病態・診断・治療に関して学習し、基礎的な技能を習得する。				
コピー番号/達成度	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
コピー番号/達成度	コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8		
	C	C	C			B	B	B			B	B	B			B	B	B		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 ＜当該科目に関連する実務経験の有無 有＞ 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

コード	MD14151050					MD14151060					MD14151070					MD14159010				
科目	循環器病学セミナー2					循環器病学セミナー3					循環器病学セミナー4					特別研究Ⅰ				
科目責任者	佐々木航					大和田真玄					房崎哲也					各（正）指導教員				
担当者	佐々木航					大和田真玄					房崎哲也					各指導教員				
会場	附属病院5F 循環器内科医局					附属病院5F 循環器内科医局					附属病院5F 循環器内科医局					各指導教員と相談の上決定				
区分等	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4	区分	演習	単位	1				
	回数	通年30コマ	配当年次	1～4	回数	通年30コマ	配当年次	1～4	回数	通年30コマ	配当年次	1～4	回数	通年8コマ	配当年次	2				
主な授業内容	脈管学					不整脈学					弁膜症等の最新のカテーテル治療					・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備				
教育成果	中枢・末梢血管病の病態・診断・治療に関して学習し、基礎的な技能を習得する。					不整脈の病態・診断・治療に関して学習し、基礎的な技能を習得する。					最新のカテーテル治療に関して学習し、基礎的な技能を習得する。					生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜初期審査＞2 年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				
コピー・テキスト番号/達成度	コピー・テキスト1	コピー・テキスト2	コピー・テキスト3	コピー・テキスト4	コピー・テキスト5	コピー・テキスト1	コピー・テキスト2	コピー・テキスト3	コピー・テキスト4	コピー・テキスト5	コピー・テキスト1	コピー・テキスト2	コピー・テキスト3	コピー・テキスト4	コピー・テキスト5	コピー・テキスト1	コピー・テキスト2	コピー・テキスト3	コピー・テキスト4	コピー・テキスト5
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C
	コピー・テキスト6	コピー・テキスト7	コピー・テキスト8			コピー・テキスト6	コピー・テキスト7	コピー・テキスト8			コピー・テキスト6	コピー・テキスト7	コピー・テキスト8			コピー・テキスト6	コピー・テキスト7	コピー・テキスト8		
	B	B	B			B	B	B			B	B	B			C	C	C		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 ＜当該科目に関連する実務経験の有無 有＞ 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。															各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。															「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。				
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

●各科目の授業計画

循環器内科学

コード	MD14159020				MD14159030													
科目	特別研究Ⅱ				特別研究Ⅲ													
科目責任者	各（正）指導教員				各（正）指導教員													
担当者	各指導教員				各指導教員													
会場	各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定													
区分等	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	2										
	回数	通年8コマ	配当年次	3	回数	通年15コマ	配当年次	4										
主な授業内容	・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備				・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備													
教育成果	生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 3年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。 研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成> 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。													
コンビネーション番号/達成度	コンビネーション1 B	コンビネーション2 B	コンビネーション3 B	コンビネーション4 B	コンビネーション5 B	コンビネーション1 A	コンビネーション2 A	コンビネーション3 A	コンビネーション4 A	コンビネーション5 A								
	コンビネーション6 B	コンビネーション7 B	コンビネーション8 B			コンビネーション6 A	コンビネーション7 A	コンビネーション8 A										
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。													
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。																	
講義日程	時間割参照																	
教科書 参考書																		

●時間割

循環器内科学

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						共通教育科目
2 限	10：30～12：00			循環器病学セミナー4	循環器病学セミナー3	循環器病学演習3	
3 限	13：00～14：30	循環器病学演習2			循環器病学セミナー1		
4 限	14：40～16：10	循環器病学セミナー2	循環器病学演習1				
5 限	18：00～19：30		特別研究Ⅰ～Ⅲ				
6 限	19：40～21：10						
【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						共通教育科目
2 限	10：30～12：00			循環器病学セミナー4	循環器病学セミナー3	循環器病学演習3	
3 限	13：00～14：30	循環器病学演習2			循環器病学セミナー1		
4 限	14：40～16：10	循環器病学セミナー2	循環器病学演習1				
5 限	18：00～19：30		特別研究Ⅰ～Ⅲ				
6 限	19：40～21：10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						

【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						